2026年11月13日

各　位

会 社 名　マ　ー　ソ　株　式　会　社
代表者名　代表取締役社長　西 野 恒 五 郎
（コード番号：5619　東証グロース）
取締役CFO
問合せ先　管理本部長　井 口 聖 一 朗
兼経営企画室長
（TEL　03-6435-6692 ）

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2026年2月13日に開示した2026年12月期（2026年1月1日～2026年12月31日）の業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

１．当期の業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,262	百万円 △76	百万円 △75	百万円 △76	円　銭 △21.76
今回発表予想（B）	1,262	△1	0	△0	△0.24
増 減 額（B－A）	0	75	75	76	
増 減 率（　％　）	0.0%	－	－	－	
（参考）前年実績 （2025年12月期）	1,078	△33	△33	△23	△6.51

２．修正の理由

当期は、2026年4月からの新年度開始に伴い、法人予約が大きく拡大しており、予約プラットフォーム事業は順調に成長しております。

当社は2026年を「Jカーブ成長への投資期」と位置づけ、人財を中心とした戦略的な投資を進めております。オフィスの拡張移転やリーダークラスの採用など、将来の成長に向けた投資は概ね計画どおりに実施しております。また、事業もおおむね計画どおりに進捗しており、売上高は前回発表予想どおりとなる見込みです。

一方、費用面では、AI活用の拡大を通じた業務効率化が進むとともに、集客チャネルの多様化により広告への依存度が低下しております。これらにより、費用は前回発表予想に織り込んでいた水準を下回る見込みとなりました。

また、法人予約など、広告宣伝費への依存度が低い売上が拡大しており、事業成長に伴う構造的な収益性の改善も進んでおります。

以上により、売上高は前回発表予想を据え置く一方、営業利益以下の各段階利益が前回発表予想を上回る見込みとなったため、通期業績予想を修正いたしました。

（注意事項）上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があることをご承知おきください。

以　上